

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》齋藤 健太郎（非）

【概 要】

医療，看護，介護の問題，高齢者，障がい者，児童の福祉の問題などと聞くと法律とは無縁のように感じるかもしれない。しかし，実は，これらの問題においては法的な感覚の有無が支援の質を分けることがある。どのような法的支援が可能なのか，全てを知っている必要はないが，せめてその必要性を感じ取ることができなければならない。

本講義では，弁護士として医療・福祉に関わってきた経験を基に，具体的な事例を通して，民法という一つの法律が社会においてどのような役割を果たしているのかを感じ，法的な問題解決の素養を身につけてもらいたい。

【学習目標】

- 1．法律は単なる言葉やルールではなく，社会に根ざした有効なシステムであることを理解する。
- 2．具体的なケースにおいて，法的な問題点を抽出する力を養う。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	民法入門	民事法と刑事法の違い，私法と公法の違い，民法の基本ルール等について学ぶ。まずは民法のイメージをつかむ。	齋藤
2	契約の基礎と意思能力	高齢者の認知症ケースを通して，契約と意思能力について考察する。	齋藤
3	契約締結のリスク 1	消費者被害の問題から，契約の効力について考察し，意思表示の瑕疵（詐欺，錯誤，強迫）について学ぶ。	齋藤
4	契約締結のリスク 2	債務整理，破産の事例を通して，お金を借りることの基本的なシステムとそのリスクについて学ぶ。	齋藤
5	成年後見制度と福祉との交錯	高齢者虐待の具体的な事例をもとに，どのような場合に成年後見制度が利用できるのか，どのような類型があるのかを学ぶ。高齢者虐待についてレポートを提出する。	齋藤
6	結婚，離婚の制度とリスクについて	離婚の具体的な事例をもとに，婚姻制度と離婚の基本を学ぶ。婚約，内縁についても理解する。DVについてレポートを提出する。	齋藤
7	子どもと親権の問題 ～虐待と親権～	虐待の事例を通して，親権の基本を学ぶとともに，その問題性について理解する。	齋藤
8	不倫や婚外子に関する法制度	具体的な事例を通して，不倫のリスクと婚外子の問題について学ぶ。	齋藤
9	事故と不法行為法の規律	交通事故事例を通して，事故の場合に不法行為法がどのように機能しているかを概観する。事故と不法行為法の規律についてレポートを提出する。	齋藤
10	医療事故と介護事故の被害とその救済	医療事故・介護事故の具体例から，不法行為法と契約法が交錯する医療・介護の問題を理解する。医療事故と介護事故の被害とその救済についてレポートを提出する。	齋藤
11	賃貸借契約の基本と，借地借家法についてその基本を学ぶ	賃料の滞納と退去に関する具体的な事例から，不動産取引の基本とリスクを理解する。賃貸借契約の基本と借地借家法の基本についてレポートを提出する。	齋藤
12	雇用・解雇の法律問題から民法を理解する。	解雇のケースを通して，労働法の規律を学び，民法をより深く理解する。	齋藤

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
13	相続の基本 ～ 法定相続とその調整 ～	相続がどのように争いとなるのか，事例を通して相続制度の基本とその問題を理解する。	齋藤
14	死後の問題と民法 ～ 遺言，尊厳死 ～	遺言の基礎と，遺言により生じるトラブルについて学ぶ。また，尊厳死やリビングウィルがなぜ必要なのかを理解する。	齋藤
15	本講義の総括	民法の全体像を最後に概観し，本講義全体の内容について総括する。	齋藤

【評価方法】

授業の最後に行うプリント課題により評価（ 2 0 % ）

期末に A 4 用紙 3 枚程度のレポートにより評価（ 8 0 % ）

【備 考】

教科書 ： 教科書は使用せず、毎回資料を配布する。

参考書 ： 特になし

その他 ： 授業中の私語・携帯電話は厳禁。遵守できない者は退席（欠席扱い）。

この科目は、教職課程（公民）では、教科に関する科目の「法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」に該当する。

【学習の準備】

しっかりと授業内容の基本を押さえたうえで，事例を読み返して復習してから次の授業に望むこと。プリント課題は前の授業の内容から出ることもあるので，しっかりと復習すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2

【実務経験】

弁護士

【実務経験を活かした教育内容】

単なる民法の法理論の説明ではなく，具体的な紛争事例を通して，実社会の紛争の実態を踏まえた授業を行う。